

平成21年 ホッケ計量魚群探知機調査報告

北海道立稚内水産試験場資源管理部 電話：0162-32-7166

・5月11～13日に仙法志堆海域（折込根・利尻根周辺）において、試験調査船北洋丸により水温観測、計量魚群探知機調査および釣獲試験を行いました。

【水温】水温は、折込根では5.8～10.2℃(50m～表面まで)、利尻根では7.2～9.6℃でした（50m～表面まで）（図1）。昨年および一昨年と比べて、折込根では、表層約10m以浅で約1℃高い値でしたが、20m以深では低い値でした。また、利尻根の水温は表層から50m層まで全体的に高いという特徴もありました。

【計量魚探調査】計量魚群探知機によって推定されたホッケ以外の魚を含めた魚群の全体量は、両根ともに昨年と同程度でした（図2）。最近では、H19年の折込根で高い値が見られています。

【釣獲試験】釣獲試験は4人で約1時間半、利尻根・折込根で行いました（表1）。1時間当たり1人当たり釣れたホッケは、折込根で3.3個体(体長240～330mm)、利尻根で1.5個体(体長208～316mm)と昨年よりは若干多かったものの、一昨年の個体数には及びませんでした。釣れたホッケは一般に大型で、この時期に当海域に来遊してくる通称「ハルボッケ」ではありませんでした。ホッケ以外で、最も多く釣れたのはメバル類（エゾメバル、キツネメバル等）でした。

【まとめ】推定された魚群量が昨年と同程度であったこと、ホッケの釣果もそれほど多くなく、「ハルボッケ」の来遊もまだ見られなかったことなどから、今年この時期の仙法志堆海域におけるホッケの分布量は少ないと考えられます。水産試験場では今後も各漁場におけるホッケ漁の状況を注視していきます。

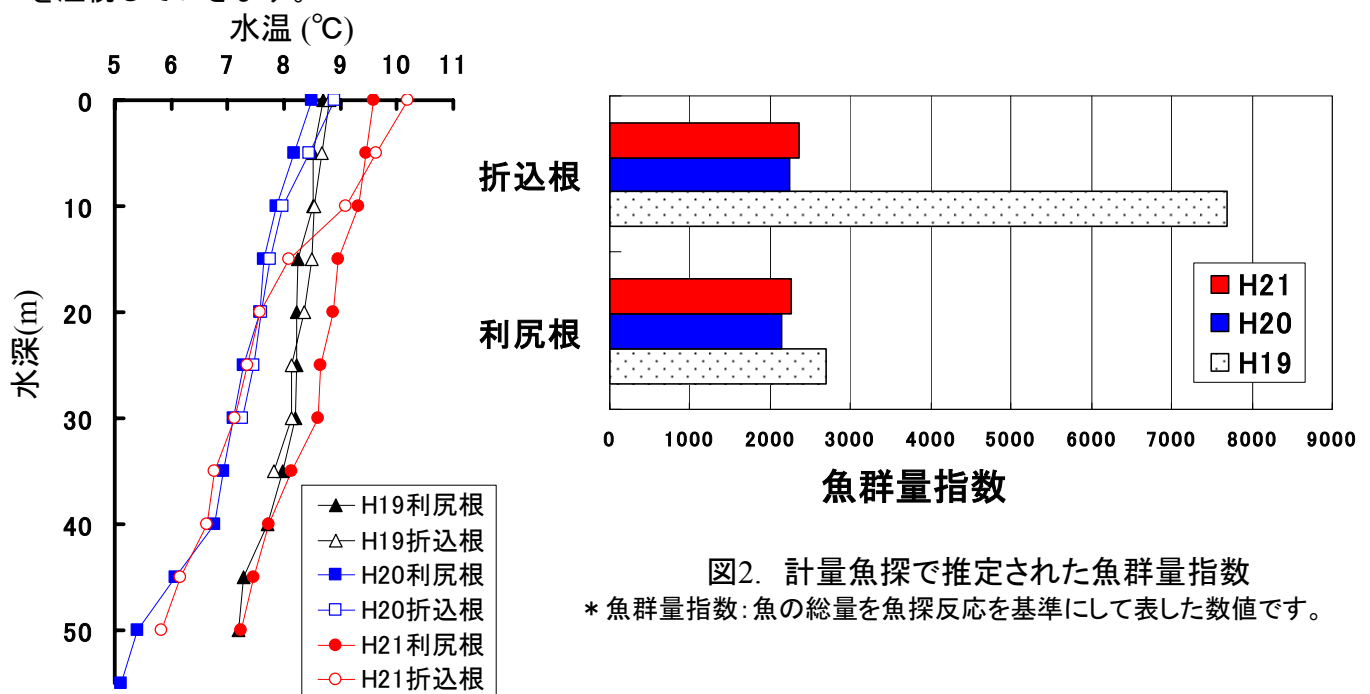


図1. 調査海域における水温

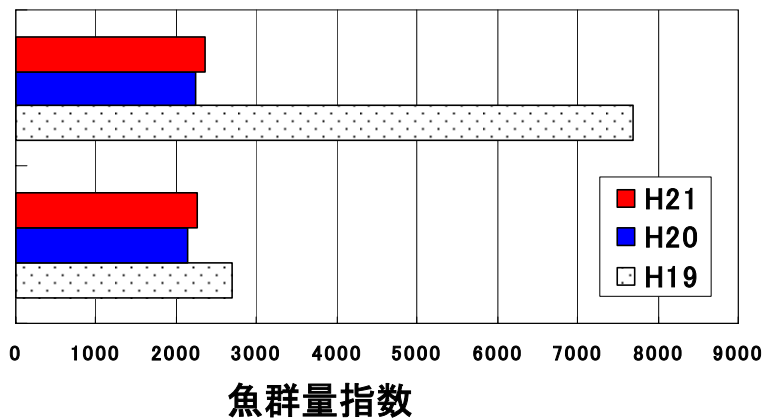


図2. 計量魚探で推定された魚群量指数

* 魚群量指数: 魚の総量を魚探反応を基準にして表した数値です。

表1. 仙法志堆の釣獲物個体数(1時間当たり1人当たりの個体数)

魚種	平成19年		平成20年		平成21年	
	折込根	利尻根	折込根	利尻根	折込根	利尻根
ホッケ	18.4	6.5	0.7	0.6	3.3	1.5
ハツメ	8.6	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0
アカガヤ	0.2	0.0	3.1	3.6	0.5	1.7
その他のメバル類	0.9	0.7	1.4	0.0	3.4	1.9
カジカ類	0.2	0.0	0.7	0.8	0.2	0.4